

活用事例⑤

奈良県立明日香養護学校
村瀬 直樹

■活動した学年：高等部2年

■主障害名：肢体不自由

■各教科等名：自立活動

■学習形態：課題別学習

■本の名前：

『おすもうシリーズ』

■対象となる児童・生徒の実態

プロレスやスポーツの雑誌を購入し読むことが好きです。

肢体不自由、中度難聴、構音障害、知的障害があり、学習したり、コミュニケーションをとったりすることに時間がかかります。

■学習のねらい

自分に合った読書の方法を見つける。

■使用した道具・機材

デスクトップパソコン、iPad、スマートフォン、紙媒体の書籍、電子書籍

■実際の様子について

さまざまな媒体の書籍や機器で読書を試み、どの方法が一番読みやすいかを考えました。そのなかでマルチメディアDAISY図書をデスクトップパソコンで読む方法が一番集中して取り組

むことができました。

物理キーボードやマウスでの操作に慣れていたり、再生ソフトの使い方が簡単ですぐに覚えることができたことにより、余計なことに気をとられず読むことができたからだと考えられます。

また、内容の理解度も高かったです。難聴で聞き取りづらい部分があってもハイライトと文字で補足できたことや、読めない漢字があっても音声で読み上げられたことにより、内容理解がすすんだからと考えられます。また、文字と音声読み上げがあると、内容理解が楽になることに気づくこともできました。

■本に対する情報提供など

『おすもうのいろは』『大相撲の力士になろう』『力士のまいにち』『大相撲用語のひみつ』『たくさんあるよ おすもうあそび』で構成されています。相撲のルールや歴史などが、端的にわかりやすく説明されています。普段、テレビで目にする相撲ですが、知るともっと楽しく見ることができる情報がたくさん掲載されています。対象生徒は、初めて聞く相撲用語の言葉に面白さを感じていました。